

## 嵯峨野児童館二十周年を迎えて

残暑の候、平素は児童館事業にご理解ご協力誠にありがとうございます。

嵯峨野児童館はこの九月に二十周年を迎えることとなりました。

これも地域の皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

児童館は学童保育だけでなく、地域の誰もが利用できる施設であり、地域の子育て支援の基幹となる場所としてこの嵯峨野の地域に設置されました。

地域の皆さんがここに児童館があつて良かった、地域の子どもや、子育て家庭にとつても地域の方々にとつても、なくてはならない場所として存在できたら・・・との思いを持つて運営してまいりました。

開館当初、児童館にいろんな子どもが駆け込んできてくれたのを思い出します。

川にネコがおぼれているので助けてあげて！公園で困っている子がいる・・・こんな落し物があつたよ・・・等いろんな情報が駆け込んできました。

何故児童館にの？と思ひ、ある時、どうして児童館に言いに来てくれたのか聞いてみました。すると、「だって児童館は子どもが困つた時に助けてくれる所やろ？」と言いました。

そうか！私たちの役割は、こういう子ども小さな困りごとでも丸ごと引き受けていくことが大事なのだと、その時教えられました。

それからは、楽しくて仕方ありませんでした。何がやってくるのかハラハラドキドキです。子どももつて・・・と思う事や子どもに教えられることも沢山ありました。

まさに子育て親育ちです。私たちは地域の子ども達に育ててもらっているのです。

そして、地域の方々には、子ども達への愛情と、人と人との交流の大切さをつかり教えて頂きました。

「何かをするときは、協力するよ」と沢山の皆さんに助けて頂いて今日があります。

地域の方と一緒に子どもを見守り、子育てを支援していけることが、私達職員にとつてどれだけ心強いことか・・・感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもを真ん中に地域の方々には児童館があつて良かったと思つただけのよう、頑張つてまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

本来なら、地域の皆様にお礼と感謝の気持ちをお伝えできる場を設けたいところですが、誠に残念ながら、コロナ感染症予防の観点から、式典等全て中止に致しました。

しかし、この地域で育つた子ども達が地域の皆さんにエールを送ってくれる機会を作れないかと考え、地域の方に優しい言葉のプレゼント（児童館だより掲載）と京都市芸術大学で声楽を学ぶ地域のお姉さんお二人から歌のプレゼントを頂く予定です。

九月末には映像を児童館ホームページにアップの予定です、是非ご覧ください。  
子ども達から皆様に、笑顔と元気をお届けします。

十月号のおたよりに添えて

社会福祉法人積慶園

京都市嵯峨野児童館

館長 飯吉昌子